亀城小だより

文　禮

平成２９年７月１９日（水）　第６号

授業研究会

６年竹組の社会科の授業

杉組の算数の授業

亀城小学校では、毎年、授業の質の向上を目指して、全学級で授業公開を２回行っています。今年も、６月上旬から、第１回目を順次行ってきました。今年は、１０月２６日（木）に刈谷市や近隣の市町の先生方を対象に、研究発表会を行います。この研究発表会では、これまで数年間の取り組みのまとめとして、全学級で授業を公開し、子どもたちの学びの様子を見ていただくことになっています。この日の授業をより充実させるため、１学期に、愛知教育大学副学長の野田敦敬教授と前校長の山田基先生を講師としてお招きし、授業研究会を行いました。

６月２６日（月）には、６年竹組の坪井教諭が社会科の授業を公開しました。初期の鎌倉幕府の支配が東日本までしか及ばなかった理由について、これまで学習した内容や新たな資料を基に考えました。７月３日（月）には、杉組の朝倉幸子教諭が算数科の授業を行いました。ものの数を数えたり、数えた数を比較したりすることを、具体的な活動を通して学習しました。この授業では、前刈谷市教科指導委員（特別支援教育）で、本校に在籍された加藤朋之先生も参観され、ご指導をいただきました。どちらも、子どもたちの成長を感じることができる授業でした。

ベルマーク

元気に遊んでいます

昨年度、これまでに集まった未集計分のベルマークを、ＰＴＡの役員・実行委員・理事さんのご協力により分類・集計していただきました。その結果は、５８，５２１点（円）となり、ソフトドッジボール（親子ふれあいスポーツイベントで使用したもの）とフラフープを購入しました。

このように、ベルマークは、集めた点数によって、学校で使う教具や遊具を購入することができます。さらに、金額の１割が過疎地や開発途上国の学校への援助資金として使われます。

今年度も、夏休みにご家庭で集めていただいたものを、夏休み明けの９月にＪＲＣ委員が回収し、ＰＴＡ総務委員会のみなさんを中心に集計していただく予定です。ご協力よろしくお願いします。

お茶会

緊張の面持ちで、初めて点茶を体験

今年もお茶会が始まりました。７月５日（水）の３年生を皮切りに、７日（金）に２年生、１０日（月）には５年生、そして１４日（金）には４年生が、校長室の茶室「文禮庵」で行いました。２年生は、初めて「お運び」を体験し、もてなす側の作法なども教えていただきました。また、５年生は、全員が点茶を経験しました。

茶道の加藤先生が、作法を一つ一つ丁寧に教えてくださいましたが、これまで教えていただいたことを覚えている子もたくさんおり、先生も感心しておられました。どの子も、真剣な面持ちで、日本の伝統文化を味わっていました。

６年生は自作の茶碗で自らお茶を点て、１年生をもてなすため、７月上旬に高浜市のかわら美術館で学級ごとに陶芸体験を行いました。１年生とのお茶会は、茶碗の完成後、２学期以降に行う予定です。

学校保健委員会

７月１２日（水）、今年度第１回の学校保健委員会を行いました。

第１部は、例年通り、保護者の皆様を対象に、学校保健計画等についての提案や定期健康診断の結果報告を行い、学校医の先生方からご助言をいただきました。

第２部からは６年生の児童も参加しました。最初にＤＶＤを見ながら、胸部圧迫やＡＥＤを使った救急救命の方法やその重要性について学習しました。その後、蘇生訓練人形を使って胸部圧迫の実習を行いました。３～４人が一組になり、ＤＶＤで学んだことを試してみました。しかし、力をうまく伝えることは難しく、一定のリズムで行うことはさらに難しかったようです。子どもたちは、汗だくになりながらも、技術を身に付けようと頑張っていました。

胸部圧迫実習の様子

ここで学んだ胸部圧迫の技術は、実際の場面ですぐには実践できないかもしれません。しかし、「人が倒れていたら勇気を出して声をかける」「近くにいる人に助けを求める」などの行為が人の命を救うことになるかもしれません。小学生であってもできることはたくさんあるということが学べたのではないでしょうか。

選手激励会

バスケットボール部６年の決意表明

今年も、夏休み中に各部活動の大会が計画されています。７月１８日（火）には、大会に参加する部員の健闘を祈って、児童会主催の選手激励会が行われました。

全校児童の手拍子の中、サッカー部、バスケットボール部の５・６年生が堂々と入場しました。その後、合唱部・ブラスバンド部の大会への決意と演奏、運動部からの決意とエールを披露しました。また、児童会代表のリードで全校が応援の気持ちを伝え、校長先生からは、激励の言葉が送られました。部員の表情からは、大会への決意が感じられました。学校の代表として、普段の練習の成果を発揮してくれることを期待しています。